

# 校長室だより

7月号

杉並区立向陽中学校  
令和元年7月19日発行  
校長 菅野武彦

**「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して**

**【今年度のキーワード】**

**「チーム向陽 ～組織対応・説明責任～」**

## ◇ 第1学期の「安心して学べるいじめのない学校づくり」・「いじめへの対応」

〈 第1学期は“明るい向陽を創ろう！”と呼びかけました 〉

1年生との面談において、この1学期の目標を確認するとともに“明るい向陽を創ろう！”の自分の実践について聞いてみました。感心させられたのは、自分なりの実践をはっきりと言える1年生が多いことと、人への気づかいを述べる1年生が多いことです。前者では「自分からあいさつをする」「授業中率先して発言する」「グループ学習で発言する」「学級の雰囲気盛り上げる」「友達と仲良くする」「明るく振る舞う」などが挙がりました。後者では「仲間はずれをしない」「一人にいる人に声をかける」「いやな思いをさせないよう気をつける」などが挙がりました。こうした気持ちある多くの1年生が学年集団の雰囲気づくりを支えているのだと感じました。

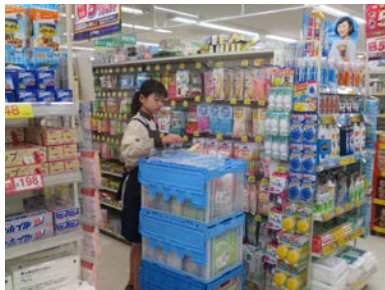
私は学校全体が明るい雰囲気に包まれ、安心して生活できる向陽中学校であってほしいと思っています。特に、新しい学年がスタートする第1学期で大切なことは“明るい雰囲気づくり”との思いから、学校全体の取組にしたいわけです。時を同じくして、生徒会が「朝のあいさつ運動」を各委員会と連携して毎朝行っています。これは「いじめ0%五ヶ条」の一つ“あいさつをしよう！”の実践でもあります。向陽中生は学校生活の中でいつでもどこでもあいさつをする習慣を身に付けていきます。そして、この“いつでもどこでも”が第1学期の最大行事「運動会」で発揮されるのです。つまり“明るい向陽を創ろう！”のゴールのひとつは「運動会」での向陽中生の“元気はつらつさ”なのです。今年も私がよく口にする「向陽中学校の生徒を見てください！」の姿を十分に発揮してくれました。

6月中旬に今年度第1回「学校生活アンケート」（年3回実施）を行いました。このアンケートのねらいは教員が把握できていない“いじめ”を把握するためです。集計の結果、自分が「いじめられた」と書いた生徒が3名いました。いじめ防止対策委員会にて検討の結果、これらの3件をいじめと認定しました。このうちの2件はちょっかいをだされたり、関わってほしくないのに関わってきたりするというものでした。残りの一件は学校が把握し相談を行っていたいじめでした。事実確認の方法や相手方への伝え方等について相談を継続するなか、スクールカウンセラーを介した対応を取ることで、いじめ解決に向けた対応の方向性を見出すことができました。いじめに対する生徒指導を継続的に行い、保護者への協力依頼も併せて行っています。2学期以降も見守っていきたいと思います。

## ◇ 自分と向き合った貴重な3日間だった！ 2年生職場体験 7/9(火)～7/11(木)

下左の画像をご覧ください。美容院での職場体験の様子です。手前の店員さんの手ほどきを受けて、生徒が懸命に床の汚れ落としをしているところです。水を含ませた布でゴシゴシと床をこすると、みるみるうちに汚れが落ちてきれいになります。この店員さんが言うには、1年目はずっとこの床の汚れ落としをしていたとのこと。私は「やっぱりそうか。美容師であると同時に、美容室の清掃美化も大事なんだ」と思いました。そして、以前ラーメン店で目にした広告の一部を思い出しました。「掃除は、すべての仕事の基本。基本中の基本です。この基本である掃除をきちんとできないような人は、なにをやってもダメ。だから、店に入ってすぐに掃除を徹底させることで、仕事の厳しさを体で覚えてもらうようにしているのです」。床の汚れ落としに励むふたりの生徒を見て、私はこの店員さん、とても素敵だなと思いました。

2年生が取り組んだこの3日間。大人とのやり取りや実際の仕事を通して感じ取ったり、自分自身を見つめ直す機会となったりと、それぞれに貴重な体験になったことと思います。自分と向き合うことが自分を変えるきっかけになります。2年生の“自立”への一歩に期待します。



いなげや（上左）・下高井戸保育園（上中）・下高井戸子供園（上右）  
サロンドユーGARE（下左）・グループホーム永福（下中）・マッシュモッタヴィオ（下右）

## ◇ 「杉並区中学生海外留学（第7期）」の派遣生25名が決定 結団式行われる

杉並区次世代育成基金活用事業として実施される「杉並区中学生海外留学事業（第7期）」の選考が行われ、区内派遣生25名が決定しました。第7期は8月13日(火)に出発し、8月25日(日)に帰国予定です。派遣先はオーストラリア連邦ウィロビー市です。6月6日(木)に結団式が行われ、田中良区長並びに井出隆安教育長より派遣生への激励のごあいさつが



ありました。

この「杉並区中学生海外留学事業（第7期）」に本校からは9名の応募がありました。みな海外留学に夢と希望を抱き、積極的に応募してくれました。9名全員と面接をしましたが、自分の思いをしっかりと自分の言葉で説明してくれました。区の選考結果、本校からは2年生の大場瑞佳さんが選ばれました。現在、事前学習に追われていますが、きっと素敵な留学体験ができることでしょう。なお、本校の高山翔教諭が引率教員として同行します。

#### ◇ 「杉並区中学生小笠原自然体験交流（第7期生）」 成果報告会実施 7/6（土）

去る3月22日（金）～27日（水）の6日間の日程で行われた「杉並区中学生小笠原自然体験交流（第7期）」の成果報告会が先日開かれました。派遣生30名は5つの班に分かれて事前学習を行い、実際に4日間小笠原村で体験したことを基に課題についてそれぞれにまとめたことを発表しました。本校からの派遣生、3年生の清水早沙さんと2年生の加藤那埜さんの両名も班ごとの発表と個人発表を行いました。当日配布された報告書には全員の環境リーダーとしてのまとめが書かれていました。清水さんのタイトルは「アオウミガメの保護活動と今後の課題」、加藤さんのタイトルは「小笠原の自然を守るために今の自分にできること」です。報告会の最後には小笠原で体験した「南洋踊り」を披露してくれました。ここでは本校の派遣生両名の個人発表（私の一枚）について紹介します。※「私の一枚」とは印象に残ったことを画像に残した写真のことです。

【清水早沙さん】タイトル：「タコノキについて」私の1枚：「タコノキの写真」○この写真を見てください。まるでタコのように気根が幹から伸びているのがわかります。それでこの名前が付けました。樹高は2～3mで気根は私のウエストあたりから四方に伸びています。これには写っていませんが、葉は長く鋭いのこぎり状になっているのが特徴です。また、夏には数十個の果実が固まったパイナップル状の集合果がつかます。タコノキは小笠原諸島の固有種で「小笠原村の木」に指定されています。父島の海岸付近のいたる所で見ることができます。最近では八丈島などに移出されて定着し、南国の雰囲気の人気で販売もされています。私が特に紹介したいことは、この「タコノキ」の種名「boninensis」が小笠原諸島の英名「Bonin Islands」に由来しているということです。まさに小笠原を代表する植物なのです。私はぜひ苗を購入して育ててみたいと思っています。



「私の一枚」を発表する  
清水早沙さん

【加藤那埜さん】タイトル：「自然を守るためのあたりまえ」私の1枚：「ビーチクリーニングで集めたゴミ」○私たちは小笠原での活動期間中、毎朝ビーチクリーニングをしました。この写真は私たちが集めたゴミです。実際に活動してみると、想像していたよりもたくさんのゴミが落ちていました。お菓子の包み紙や袋、タバコの吸い殻などが特に多かったです。中には英語で書いてあり、外国から流れ着いたとみられるものもありました。毎朝早くから掃除をしてくださっている島民の方々もいるそうです。島の小中高生は下校前に海や町をクリーニングしたり、3か月に1回兄島などでゴミ拾いをしたりし



「私の一枚」を発表する  
加藤那埜さん

ます。大人も日常的にボランティアで清掃をします、このように、島民の方々は一人一人の自然に対する意識が高く、努力や協力性によって自然を守っていかようとしています。だから私はこのことをたくさんの人に伝え、自分自身の意識も高め、自然を守る協力をしたいです。

報告会当日は、保護者の皆様や次期派遣を希望する中学生、中学校関係者など、多くの来場者が派遣生の発表に耳を傾けていました。私が感心したことは、中学生がこれほどまでに意識を高くもって自然体験に取り組んでいること

と、年々発表のレベルが高くなっていることのみならず、杉並区次世代育成基金を活用した事業であることに感謝の言葉を述べる派遣生もいて素晴らしいなと思いました。

第8期派遣生（令和2年3月26日～3月31日）の募集が現在行われています。すでにチラシと応募用紙を配付しました。第1学期終業式の日には清水早沙さんが、第2学期始業式の日には加藤那埜さんが全校生に向けて報告する予定です。応募については両名の発表を参考にするのもいいですね。応募の締切りは9月9日（月）です。



最後に全員集合であいさつ

#### ◇ 向陽中生の「がんばれ！自分。私がやる！」 4月からの1学期

〈頼もしい姿を随所で見せてくれる向陽中生。この姿が一人一人に浸透しますように〉

生徒にどの程度浸透しているかは分かりませんが、今年度も「がんばれ！自分。私がやる！」の精神で自分を励まし、生徒に自分の気持ちを奮い立たせ、前向きに取り組ませたいと思っています。そのねらいは自分で考えることやその考えに基づいて実行することを通して、自分に向き合わせ生徒を「自立」に向わせることです。生徒をいかに「自立」に向わせるかの手立てにしたいからです。自分で考えなかったり後ろ向きのままであったりしては、一向に前進できないばかりか、他人と共に前進することも危うくなります。これではあまりのも勿体ない。誰も何もしてくれません。自分にしかできないことなのだから、「がんばれ！自分。私がやる！」の気持ちで何とか自分自身を奮い立たせほしいですね。

すでに第1学期も本日で終わりました。私から見た向陽中生はさまざまな場面で「がんばれ！自分。私がやる！」の精神を発揮してくれました。最も発揮してくれた「運動会」をはじめ、1年生のフレンドシップ・スクール、2年生の職場体験学習、生徒会・委員会活動、毎日の授業など、活動することが大好きな向陽中生ならではの姿をいっぱい見せてくれました。私が考えるこれからの課題は、向陽中生一人一人にしっかりと定着させることです。この一人一人がポイントです。つまり、自分自身の課題に直結する「がんばれ！自分。私がやる！」の発揮です。



5/10 生徒総会（左）



5/7 図書委員会主催の読書会（中）



6/22 KOYO スタディ3年生（右）